

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準で推移しているが、設備投資は前年を下回る動きとなっている。個人消費は厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。住宅投資は弱めの動きとなっている。

こうした中、生産は一部に持ち直しの動きがみられている。雇用・所得環境は弱めの動きが続いている。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を下回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・高水準で推移

9月の公共工事請負金額は、県が増加したものの、国や市町村が減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲5.3%）が、高水準で推移している。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 7月	8月	9月
山形県	18.6	26.4	▲48.1	10.7	10.7	▲5.3

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・前年を下回る動き

8月の建築着工床面積（民間非居住用）は、医療・福祉や運輸などは増加したものの、農林水産業や宿泊・飲食サービスなどが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲52.1%）。

こうした中、9月短観における2020年度の設備投資計画（全産業）は、製造業で下方修正されたことから、前年度を下回る計画となっている（前年度比▲1.3%）。

（図表2）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 6月	7月	8月
山形県	▲12.0	▲11.5	▲6.1	26.7	▲4.7	▲52.1

＜資料＞国土交通省

（図表3）県内企業の設備投資額（2020年9月山形短観） 前年度比、%

山形県	2018年度(実績)	2019年度(実績)	2020年度(計画)
全産業	3.2	▲22.6	▲1.3< ▲8.6>
製造業	▲9.0	▲27.1	▲6.5< ▲16.0>
非製造業	26.5	▲16.3	5.1< 1.1>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている

8月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、飲食料品などが堅調なものの、衣料品などが減少し、前年を下回った（前年比▲3.8%）。コンビニエンスストアは、外出者や帰省者などの減少から前年を下回った。ドラッグストア、ホームセンターは、衛生用品が好調なほか、巣ごもり需要の継続などから、前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2019年 10～12月	2020年 1～3月	4～6月	2020年 6月	7月	8月
全店	▲2.3	▲4.0	▲3.7	▲3.3	▲3.7	▲3.8
既存店	▲1.5	0.1	1.4	1.8	1.1	0.3

<資料>経済産業省

9月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った（前年比▲10.4%）。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 7月	8月	9月
乗用車 合計	▲9.6	▲15.8	▲20.0	▲8.2	▲15.2	▲10.4
普通車	1.1	▲24.2	▲30.6	▲18.6	▲20.0	▲10.3
小型車	▲10.9	▲11.5	▲21.6	▲17.1	▲16.7	▲11.8
軽四輪	▲16.2	▲12.9	▲9.9	10.0	▲10.2	▲9.5

<資料>東北運輸局

この間、サービス消費での新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、厳しい状態にあるが、一部に持ち直しの動きがみられている。

(4) 住宅投資・・・弱めの動き

8月の新設住宅着工戸数は、分譲と貸家が減少した一方、持家が増加したことから、全体では前年を上回った（前年比7.4%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 6月	7月	8月
山形県	▲4.1	▲35.6	▲19.5	▲42.6	▲0.2	7.4
持家	▲25.4	▲17.9	6.8	▲17.3	10.6	41.0
貸家	▲1.6	▲41.7	▲47.9	▲50.8	▲29.3	▲8.6
分譲	115.7	▲51.1	▲44.9	▲71.4	74.0	▲43.7

<資料>国土交通省

3. 生産・・・一部に持ち直しの動きがみられている

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、2か月連続で前月を上回った(前月比3.6%)。業種別には、家具や電子部品・デバイスなど7業種で低下したものの、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械など15業種が上昇した。7月の在庫指数(季節調整済)は、前月を下回った(前月比▲2.8%)。

(図表7) 鉱工業指数

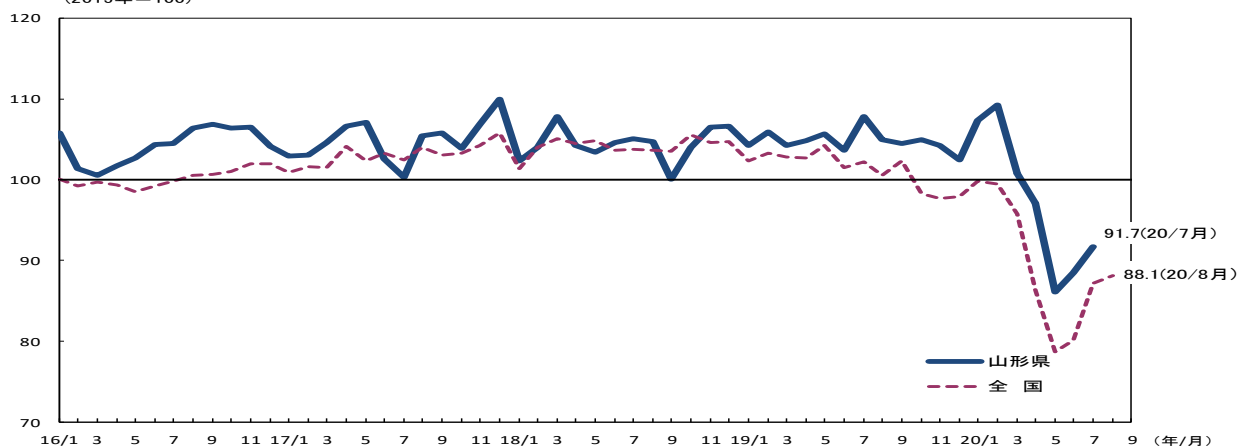
2015年基準

山形県		2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 5月	6月	7月
生 産	季節調整済前月比%	▲0.5	▲1.6	▲7.8	▲11.3	2.8	p 3.6
	原指数前年比%	6.6	▲0.6	▲1.8	▲19.8	▲11.7	p ▲16.4
在 庫	季節調整済前月比%	1.0	0.2	8.1	▲1.4	5.0	p ▲2.8
	原指数前年比%	7.7	7.0	7.8	6.4	9.5	p 4.0

<資料> 山形県

(図表8) 鉱工業生産指数(季節調整済)の推移

(2015年=100)



<資料> 経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・弱めの動き

8月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.04倍となった。業種別の新規求人数は、新型コロナウイルス感染症の影響から、製造業や運輸・郵便、金融・保険・不動産・物品賃貸、宿泊・飲食サービスなど多くの業種で減少した。8月の雇用保険受給者は、前年を上回った(前年比20.4%)。

(図表9) 雇用関係指標(その1)

倍、%、<>内は前年比

山形県	2019年 10~12月	2020年 1~3月	4~6月	2020年 6月	7月	8月
有効求人倍率	1.46	1.30	1.06	1.06	1.04	1.04
完全失業率	1.7	2.1	2.4	—	—	—
雇用保険受給者	<11.7>	<19.4>	<20.6>	<20.6>	<16.3>	<20.4>

<資料> 厚生労働省、総務省、山形労働局

(注) 有効求人倍率、雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

7月の常用雇用指数は、前年を下回った（前年比▲1.2%）。業種別には、教育・学習支援や医療・福祉などが前年を上回ったものの、宿泊・飲食サービス、製造業などは前年を下回った。

7月の所定外労働時間は、前年を下回った（前年比▲9.9%）。業種別には、教育・学習支援や運輸・郵便などが前年を上回ったものの、製造業や医療・福祉、宿泊・飲食サービスなどは前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 5月	6月	7月
常用雇用指数	1.2	1.4	0.9	▲2.0	▲1.6	▲1.2
所定外労働時間	▲7.3	▲10.9	▲6.2	▲26.0	▲19.3	▲9.9

〈資料〉山形県

7月の現金給与総額（名目賃金指数）は、不動産・物品賃貸などは増加したものの、製造業や卸・小売、サービスなどが減少したため、前年を下回った（前年比▲5.5%）。

7月のきまって支給する給与は、前年を下回った（前年比▲3.3%）。

(図表 11) 所得関係指標 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 5月	6月	7月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.7	3.6	▲1.0	▲4.1	▲3.2	▲5.5
きまって支給 する給与	0.9	1.5	▲1.3	▲3.4	▲3.1	▲3.3

〈資料〉山形県

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

9月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（1件）、負債総額（3.8億円）とも低水準（＜前年同月＞倒産件数6件、負債総額3.0億円）。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2019年 12月	2020年 3月	6月	2020年 7月	8月	9月
件数	6	1	2	4	5	1
負債総額	4.2	3.0	0.4	3.5	3.1	3.8

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を下回った

8月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、エネルギー価格の下落などから、全体でも前年を下回った(前年比▲0.9%)。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 6月	7月	8月
総合	0.2	1.0	0.1	▲0.5	0.0	▲0.3
生鮮食品を除く総合	0.2	0.9	▲0.1	▲0.6	▲0.4	▲0.9

<資料>山形県

7. 金融

8月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比7.5%)。また、8月の県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った(前年比4.0%)。

この間、8月の貸出金利は前月から低下した(前月比▲0.005%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2019年 9月	12月	2020年 3月	2020年 6月	7月	8月
実質預金+CD (未残前年比)	0.1	0.9	0.8	5.6	6.7	7.5
貸出金 (未残前年比)	▲1.1	▲1.0	▲1.6	2.2	2.9	4.0

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2019年 10~12月	2020年 1~3月	4~6月	2020年 6月	7月	8月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.003	▲0.004	▲0.022	▲0.014	▲0.004	▲0.005

8月末水準
0.965%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004